

〔第175回明専塾（パナソニック株）に参加して〕

## 人ともものをつくる

工学府工学専攻電子システム工学コースM1 竹藤 輝



### はじめに

令和元年6月28日、戸畑キャンパス中村記念館において第175回明専塾が開催されました。今回はパナソニック株のOBの方々に講演していただきました。日本が誇る大手総合電機メーカーです。私は学校では人工知能や画像センシングなどのソフトウェアなどを開発や研究を行っています。今後就職活動を行っていくに当たり、どの業界に進むべきか絞り切れていません。各業界を調査する際、メーカー系においては世界で様々な分野で活躍されているパナソニック株について知る必要があると考え、今回の明専塾に参加させていただきます。

### 講演会

今回講演していただいた先輩方々は東幸哉氏（情55）、磯田恵子氏（情制H12）、吉崎修氏（電子H19）、工藤嘉晃氏（機字H22）、中島翼氏（総合H25）の5名の先輩方に講演いただきました。創業者である松下幸之助氏の経営理念を元に人材育成に力を入れ、併せてものを作っているとお聞きしました。時代によって価値観が変わっていくので人材育成を重視しているとおっしゃっており、技術力だけでなく、人として成長できる会社であると感じました。また講師全員が共通して、コミュニケーション能力とチャレンジ精神の重要性を語られていました。私たちが目指す技術者は自分だけでもものを作るのではなく、他分野の部署の方と協力し作っていくので、専門分野でない人にも伝えることのできるコミュニケーション力が必要だと気づかされました。実際に行う仕事というのは学生の環境下で思うようなことと

違うので、学生の内は様々なことにチャレンジしておくべきとのアドバイスをいただきました。私は講演を聞いて、学生の間は研究は重要だが、それ以外に今しかできない新しいこととに挑戦し、多くの経験を積むべきだと思いました。社会に出た後、多くの壁にぶち当たるとは思います。多経験により乗り越えていけると思いました。



講演会の様子

### 懇親会

懇親会では講演していただいた方だけでなく、駆けつけてくださった社員の方々と交えて行われました。立食形式でリラックスしながら会話をさせていただきました。講演会で

気になった部分であったり、プライベートなことや学生時代のお話も伺うことができました。その際、パナソニックは安定志向な会社だと思われがちだが、みな高い意識を持ち、社内ベンチャーで起業できたり、eチャレンジという社内公募などの制度も充実している会社だと伺い、大変興味を持ちました。

### 最後に

最後になりましたが、ご多忙の中私たち学生のために講演してくださったパナソニック株の皆様、ならびにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会の皆様にご心よりお礼申し上げます。



懇親会の様子